

キジロオヒキグモ *Arachnura logio* Yaginuma

【選定理由】

主に里山や低山の林内に生息するが、もともと個体数は少なく、散発的に記録される程度である。

【形態】

体長雌 25~28mm、雄 1.5mm。雌の背甲は黄白色。腹部は黄褐色で前方は二つに分かれ、背甲の後部を覆うほど突出する。後端は長く尾状に伸び、その先端部は多数の毛で覆われる。胸版は黄白色で多数の黒点がある。雄は全体に黒褐色で、腹部は卵形で別種のような印象を受ける。



岡崎市天神山緑地, 2004年7月25日, 緒方清人 撮影

【分布の概要】

低山や山地の樹林に広く分布するが、個体数は少ない。確認された地域は瀬戸市、豊田市(旧豊田市・旧稲武町)、岡崎市、西尾市である。

国内では、本州、四国、九州、南西諸島に広く分布する(新海ほか, 2018)。

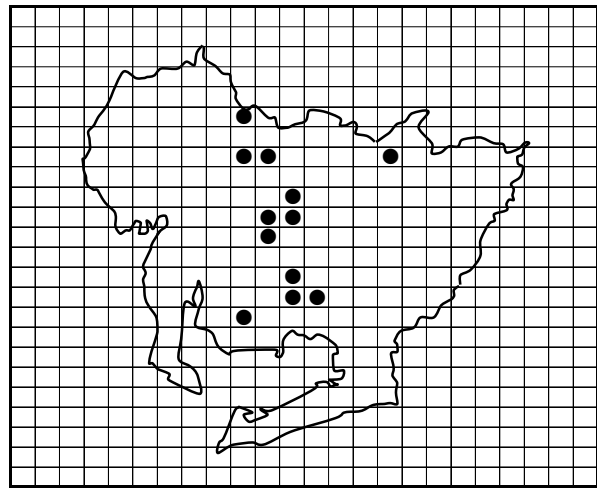
【生息地の環境／生態的特性】

二次林や落葉広葉樹林に生息する。枝葉間にキレ網と呼ばれる円網を張り、その中心にとまる。比較的低い位置に網を張る習性がある。

【現在の生息状況／減少の要因】

個体数が少ないので不明な点が多い。分布を含めて今後の調査が必要である。2018年に西尾市でも発見された。

県内分布図



【保全上の留意点】

生息地における樹木の伐採は慎むべきである。

【引用文献】

新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生, 2018. CD 日本のクモ. 自刊.

【関連文献】

千国安之輔, 1989. 写真日本クモ類大図鑑, pp.77,213. 偕成社, 東京.  
八木沼健夫, 1986. 原色日本クモ類図鑑, p.116. 保育社, 大阪.  
新海栄一, 2017. 日本のクモ増補改訂版, p.254. 文一総合出版, 東京.  
小野展嗣編著, 2009. 日本産クモ類, p.423. 東海大学出版会, 神奈川.  
小野展嗣・緒方清人, 2018. 日本産クモ類 生態図鑑. pp.130,507. 東海大学出版会部, 神奈川.

(緒方清人)